

令和6年度 大館市立山瀬小学校 学校評価書 (前期・年度)

A 学校教育目標

ふるさとに学び、未来を拓く児童の育成 ～夢をもち、やさしく、まじめに、せいっぱいがんばる子～

B 本年度の重点

～ 一歩前へ チャレンジ！ 共感・協働・実践
 ～ たけのこの里で ぐんぐん伸びる たけのこ子 T・T・S(つながり 確かめ シンカする)で確かな学力を ～

- 夢を育てるふるさとキャリア教育の推進
- 夢の実現に向かう確かな学力の向上
- 夢を支える豊かな心の育成
- 夢を支えるたくましい体の育成

C 学校経営の特徴

学校経営の基本方針

- 子どもたちがふるさとのよさを知り、ふるさとを大切に思いながら、高い志を抱く学校づくり
- 一人一人の子どもが、一歩前へ踏み出し、積極的に学習や活動を行う学校づくり
- 教職員個々が使命感をもって実践と研修を重ね、子どもの人権を尊重し、学力や様々な可能性を伸ばす学校づくり
- 全校児童・全教職員が心をひとつにし、力を合わせ、家庭や地域と連携・協働できる学校づくり

夢をもち、
やさしく、まじめに、
せいっぱいがんばる子

目指す児童像

- 夢をもち
 - ・夢や目標に向かって粘り強く努力する児童
- やさしく
 - ・自他を大切にし、思いやりの心をもった児童
- まじめにせいっぱい
 - ・自分の役割を果たし、基礎・基本となる学力を身に付けた児童

目指す学校像

- ・一人一人が認められ、「心の居場所」がある学校
- ・明るく、活気に満ちた学校
- ・児童が生き生きと楽しく学べる学校
- ・地域と連携、協働し、地域に開かれた学校

目指す教師像

- ・子ども一人一人を尊重し、温かく支える教師
- ・生徒指導の機能(自己存在感、共感的人間関係、自己決定)を生かし、子どもを育てる教師
- ・授業力向上と研修に励む教師
- ・家庭、地域と協力し合い、信頼される教師

経営の重点事項と具体的な取組

1 ふるさとキャリア教育の充実	2 確かな学力の向上	3 豊かな心の育成	4 たくましい体の育成
・地域の「ひと・こと・もの」を活用した多様な体験活動の推進 (たけのこプロジェクト～栽培活動・たけのこ紙作り・ふるさとを歩こうデー等～) ・地域の特色や伝統文化等を学ぶ探究活動の展開	・学習習慣と基礎的、基本的な学力の定着 ・主体的に学び高め合う学習指導(やませっ子学びのスタイル)、「つながる場」「たしかめる場」「シンカする場」の充実 ・自分の考えを根拠をもとに話せる児童 ・UDの視点を取り入れた個に応じた指導	・元気な挨拶と返事や整理整頓、時間を守る等の基本的な生活習慣の定着 ・議論することを通して道徳性を育む道徳科の充実 ・思いやりの心や豊かな心を育む特別活動、読書活動の推進	・体力テストの結果を生かした効果的な体力づくりの推進 ・運動の楽しさを味わい、基本的な知識や技能を身に付ける体育学習の充実 ・望ましい生活習慣を確立する食育、保健教育の推進

学習規律の徹底と生徒指導の機能を高めた学級経営が基盤

かいなを組み、OJTを通して学び合い、同僚性を高める「チームやませ」

学校間・家庭・地域との連携

- OPTA活動
- 地域学校協働活動
- ◎学校運営協議会
- 田代中学校区小・中連携研究会
- たしる保育園との連携
- 田代地域学校協働支援チーム
- 福祉教育推進事業

ふるさとに学ぶ

6月7日(金)
【ふるさとを歩こうデー】



一歩前へ チャレンジ
共感・協働・実践

6月5日(水)
【魚津市授業研修
授業を見合う会】

令和6年度学校評価一覧(前期)

学校名(大館市立山瀬小学校)

学校の重点	◇夢を育てるふるさとキャリア教育の充実	一步前へ チャレンジ! 共感・協働・実践 ~たけのこの里でぐんぐん伸びる たけのこ子 T・T・S で確かな学力を~ つながり たしかめ シンカする
	◇夢の実現に向かう確かな学力の向上	
	◇夢を支える豊かな心の育成	
	◇夢を支えるたくましく健康な体の育成	

評価区分(達成度)
 きわめて良好(100%以上)
 良好(80%以上達成)
 おおむね良好(60%以上)
 やや不十分(80%未満)
 努力を要する(40%未満)

大人間の基礎力・大館市民基礎力・未来・大館市民の実践力の育成	評価項目		自己評価A	学校運営協議会委員評価	評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B
	I 自主的・自立的な生活	規律ある落ち着いた生活を送りながら自分を律し、夢の実現に向けて努力しようとしている。	おおむね良好	おおむね良好	1 基本的な生活習慣の確立	(1) 明るく元気で心のこもった挨拶と落ち着いた校内生活の励行	運営委員会と学年ごとの「挨拶運動」、小中連携「挨拶運動」、運営委員会「廊下歩行運動」の実施 「次代を担う田代の子〜夢の実現に向けての自立プラン〜」の実施	3
II 思いやりの心たくましい心	自他を大切に、互いに認め合い、切磋琢磨し合いながら安心した学校生活を送り、豊かな人間性を育もうとしている。	おおむね良好	おおむね良好	3 思いやりの心の育成	(2) つながりを強めて、夢や目標に向かって努力する機会の充実	夢を育む環境づくり(職員室前に全校児童の夢の掲示、各学級に一人一人の目標掲示) 「たけのこプロジェクト」(農園活動、和紙づくり用たけのこ皮集め、ふるさとを歩こうデー等)による目標に向かう力を育む取組	4	
					(3) 自他を大切に、温かな思いやりの心を育む活動の充実	児童理解のためのアンケート・教育相談の実施・道徳科の充実・授業での振り返りの実施・互いを認め合う学級づくり	4	
					(4) つながりを強めて、思いやりの心を育てる特別活動の推進	「花丸ニュース」・縦割り活動・異学年(学団)交流・帰りの会での「今日の〇〇さん」の紹介・児童会いじめ〇運動	4	
III 健康と体力	食や運動を通じて健康や体力への関心をもち望ましい生活習慣を形成しようとしている。	おおむね良好	おおむね良好	4 健康と体力の向上	(5) 豊かな心を育む読書活動の充実	家庭と連携した読書活動の充実(うち読)・必読図書の選定・屋読書の工夫(図書室の活用等)・読み聞かせ活動の充実	3	
					(6) 体力づくりの推進と体育学習の充実	運動会や歩こうデーに向けた昼休みの体力づくり(マラソントイム) 新体力テストに向けた取組と実施 体育委員会主体の集団遊びの工夫と実施	4	
IV 基礎学力	意欲的に授業に臨み、基本的学習習慣を身に付けながら、学力を向上させようとしている。	おおむね良好	良好	5 確かな学力の育成	(7) 適切な食習慣・生活習慣形成のための指導と家庭との連携	食に関する啓発活動(給食だより、昼の放送)・歯磨き教室・健康花丸チェック	3	
					(8) 基本的学習習慣の徹底	学習態度や話型の指導・学習環境の整備 家庭学習の習慣化(手引きの活用、自学紹介コーナー、自学花丸デー、ノート展、自学を見合う会)	4	
					(9) 基礎・基本的な学力の定着	意図的、計画的な繰り返し指導(ドリル学習、百マス計算、新聞ワークシート、ミニテスト等)・個に応じた指導の工夫(TT)・聞き方、話し方の強調月間の設定	4	
V 安全・安心	児童の安全確保に取り組んでおり、諸問題への組織的対応が図られている。	良好	良好	6 安全教育と安全管理の徹底	(10) つながりを強めて、主体的に学び合う学習指導の充実	基本的な学習スタイル(つながる場、たしかめる場、シンカする場)の活用 授業での学び合い、話し合いの場(たけのこ子タイム)の設定と充実	3	
					(11) 安全教育の徹底による安全意識の高揚	集団下校指導、交通安全教室、避難訓練(地震)の実施 生徒指導部だより「すこやか通信」の発行・地区児童会(危険箇所の確認等)	4	
VI 保護者・地域との連携	学校の取組が分かりやすく保護者や地域に伝えられ、地域の教育力が有効に活用されている。	良好	良好	7 地域の教育力の活用	(12) 地域や関係機関と連携した安全指導	警察、交通安全協会、スクールガードリーダー、子ども110番の家、PTA等、各関係機関との連携 引き渡しカードの更新・危険箇所確認及び看板設置、街頭指導	4	
					(13) 定期的で効果的な情報発信	各便り(学校報、学年通信、保健便り等)の発行、HP 行事等におけるメール配信	4	
					(14) 地域の「ひと・こと・もの」を活用した豊かな教育活動	地域素材、人材を活用した多様な体験活動の実施(農園活動、田植え、なめこ栽培、たけのこ皮集め、藤の郷見学、ふるさとを歩こうデー、クラブ活動、ブルタブ・アルミ缶回収等)	4	

ア
児童の状況

学校評価Aと運営協議会の評価区分	きわめて良好	学校評価Bの評価基準	5	実現状況は極めてよく意識も高い／数値目標に対し100%以上達成
	良好		4	実現状況は良好で意欲もある／数値目標に対し80～99%達成
	おおむね良好		3	実現状況はおおむね良好／数値目標に対し60～79%達成
	やや不十分		2	実現状況はやや不十分で取組が不安定／数値目標に対し40～59%達成
	努力を要する		1	実現状況は不十分で努力を要する／数値目標に対し39%以下の達成

I 自主的・自立的な生活

児童の状況	学校評価A	運営協議会評価	運営協議会のコメント
規律ある落ち着いた生活を送りながら自分を律し、夢の実現に向けて努力しようとしている。	前期 おおむね良好	おおむね良好	学校や集団での挨拶は良いが、地域や個人でとなると弱いところがあるという現状から、挨拶だけにこだわらず、発表の声の大きさなど、人前でも臆せず自分の考えや思いを堂々と伝えられるような指導を心掛けてほしい。ルールの遵守、落ち着いた校内生活に向けた指導をさらに継続してほしい。
	年度		

善要学 【前期(一年度)】 (1)についての挨拶については、児童や保護者、教員とも肯定的回答が9割弱である。落ち着いた校内生活については、児童と保護者の肯定的回答は9割に対して、教員は7割と低くなっている。挨拶は、校内や集団では積極的に元気よく行っているが、個人や地域でとなると弱いところがある。2学期は、お客さんや校外でも出会う方へ進んでいけるよう呼び掛けていく。落ち着いた生活では、安全な廊下歩行について、運営委員会が呼び掛けており、廊下歩行強調週間もしている。自己管理能力の向上が課題である。(2)について日々の学習や学校行事、ふるさとキャリア学習において一人一人の児童が目標をもって臨み、事後は振り返りを行って次につなげるようにしている。今後も積み重ねを大事にして、児童の夢や目標に向かう力を育てていきたい。

策と校 【年度(一次年度)】

学

校

価

の

改

概

	実践課題	主な取組	学校評価B	
			前期	年度
1 基本的な生活習慣の確立	(1) 明るく元気で心のこもったあいさつと落ち着いた校内生活の励行	・運営委員会と学年ごと、小中連携の各「挨拶運動」、挨拶名人の選出・運営委員会「廊下歩行運動」の実施 ・「次代担う田代の子～夢の実現に向けた自立プラン～」の保健委員からの呼び掛けと実施	3	
2 夢に向かって努力する資質・能力の育成	(2) つながり強めて、夢や目標に向かって努力する機会の充実	・夢を育む環境づくり(全校児童の夢や目標の掲示) ・「たけのこプロジェクト」(たけのこ皮集め、農園活動、ふるさとを歩こうデー等)による目標に向かう力を育む取組	4	

【各種データ】 ※データは前期 ■職員 □保護者 ◎児童 (アンケート:4段階評価 4が最もよい) ★実践事項

[1]に関するデータ

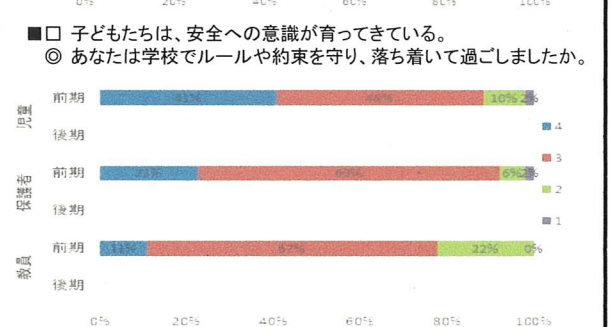
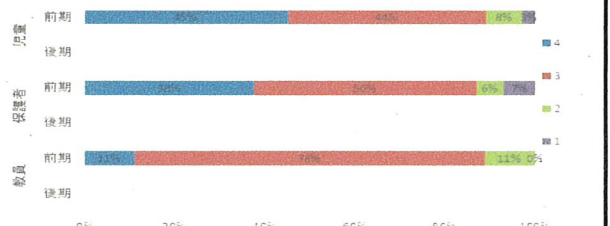
■□「子どもたちは、元気な挨拶ができる。」 ◎「あなたは、元気な挨拶ができましたか。」

★ 児童会による挨拶運動の実施
・児童会と学年ごとの挨拶運動(中学校前でも) 5月、9月
・児童会による各学年の挨拶名人の紹介
・全校集会での運営委員会による「爽やかな挨拶」の呼び掛け

★ 田代地区小中連携挨拶運動 6月
中学生と一緒にの挨拶運動
(次代を担う田代の子「笑顔であいさつ」)

★ 運営委員会による廊下歩行強調週間の実施→安全で落ち着いた校内生活へ

★ 職員全体で児童への挨拶、廊下歩行等の言葉掛け



[2]に関するデータ

★ 夢に向かう力を育む取組(ふるさとキャリア教育)

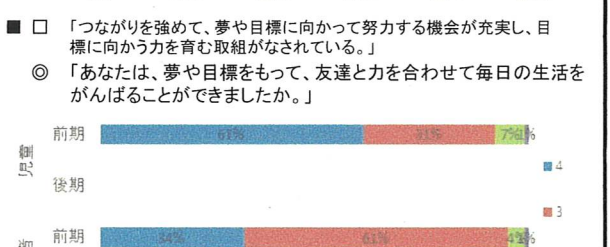
○職員室前廊下の夢の掲示と各学級に一人一人の目標掲示

○行事や委員会・係活動等と関連させた取組

- ・毎月の月目標設定(学団ごと)
- ・目標に向かって努力する取組と振り返り～例:係活動、運動会、農園栽培活動、ふるさとを歩こうデー

○「たけのこプロジェクト」の推進

- ・和紙作り用にたけのこの皮集め、皮の選別作業、農園栽培活動、ふるさとを歩こうデー・PR活動等、地域の教育力を活用した体験活動



ア 児童の状況

II 思いやりの心・たくましい心				
児童の状況	学校評価A	運営協議会評価	運営協議会のコメント	
自他を大切にし、互いに認め合い、切磋琢磨しながら安心して学校生活を送り、豊かな人間性を育もうとしている。	前期	おおむね良好	おおむね良好	読書に関する評価が他に比べて低くなっていることが気になった。保護者へのヒアリングでは、家庭での読書の時間が難しいという話があったが、負担を軽減しながら親子で本に親しむ「うち読」の取組を工夫してほしい。子どもたちの心を耕す読書活動を今後の根気強く進めてほしい。
	年度			
学校の評価改善の概要と	【前期(→年度)】(3について)日々の児童の観察を丁寧に行い、生徒指導的な対応が必要な場合は、学級担任だけでなくチームで対応できるよう努めている。道徳の学習を大事にし、思いやりの心を育む学級経営を今後も推進していく。(4について)様々な場面で異学年(学団)による活動を意図的に取り入れ、仲間との関わりの中で協力し合ったり助け合ったりすることができるようにしてきている。放送での花丸ニュースの紹介では、1年生も積極的に投稿している。(5について)読書については、昼読書や図書委員、たしるどリームライブラリーの皆さんによる読み聞かせを行い、本に親しむ取組をしている。前期は、うち読秋田県一周等の取組ができなかったため、2学期は図書委員の活動を充実させて実施していく。			
	【年度(→次年度)】			
評価指標	実践課題		主な取組	学校評価B
3 思いやりの心の育成	(3)	自他を大切にし、温かな思いやりの心を育む活動の充実	・児童理解のためのアンケート・教育相談の実施 ・道徳科の充実・互いを認め合う学級づくり	前期 4 年度 4
	(4)	つながりを強めて、思いやりの心を育てる特別活動の推進	・花丸ニュース・縦割り活動・異学年(学団)交流、運動会遊競技、体力テスト、水泳授業	4
	(5)	豊かな心を育む読書活動の充実	・家庭と連携した読書活動の充実(うち読)・必読図書書の選定・昼読書の工夫・読み聞かせ活動の充実	3
【各種データ】 ※データは前期 ■職員 □保護者 ◎児童 ★実践事項				
[3に関するデータ]				
★児童観察と教育相談				
・いじめアンケート後の個人面談 ・長期休業中の全保護者との個人面談				
★児童を語る会・校内支援委員会				
・児童の様子を把握し、適切な指導ができる校内体制と関係機関との連携				
★道徳科の充実				
・物事を多面的、多角的に考えられる指導方法の工夫、道徳コーナーの設置				
★互いに認め合う学級づくり				
・授業での「振り返り」の発表後の認め合い ・善行を認め合う、帰りの会での「今日の○○さん」の紹介				
★児童会いじめ0運動				
・いじめ、いじわるをしない標語の募集				
[4に関するデータ]				
■ □ 「思いやりの心を育てる特別活動を推進している。」 ◎ 「あなたは友達と協力しながら係・委員会・当番活動や縦割り班活動に取り組むことができましたか。」				
★思いやりと奉仕の心を育てる取組の具体例				
○花丸ニュース ○縦割り班清掃活動 ○小中合同ボランティア ○ペットボトルキャップ、アルミ缶、古電の回収 ○ふるさとを歩こうデー ○大館市子どもサミットへの参加 ○異学年(学団)交流・運動会遊競技・体力テスト・水泳授業				
[5に関するデータ]				
★読書の奨励				
・家庭と連携した読書活動の充実・必読書の選定・昼読書の工夫(図書室の活用等) ・読み聞かせ活動の充実(図書委員会・たしるどリームライブラリー)				
■ □ 「子どもたちは、本に親しんでいる。」 ◎ 「あなたは、進んで読書をすることができましたか。」				
※図書委員による「読み聞かせ」の実施(7月)				

ア 児童の状況

Ⅲ 健康と体力			
児童の状況	学校評価A	運営協議会評価	運営協議会のコメント
食や運動を通じて健康や体力への関心をもち望ましい生活習慣を形成しようとしている。	前期	おおむね良好	体カテストの結果が県平均を上回っている学年が多く、学校での体育指導や体力つくりの取組の成果が現れてきていると感じた。今後も様々な運動に触れる機会を設定し、更なる向上を目指してほしい。後期は、食育授業やメディアコントロールに関する取組なども工夫していってほしい。
	年度		
と学校 学校評 校評の 価改の 善概 策要	【前期(→年度)】(6について)運動会やふるさとを歩こうデーに向けて、マラソントイムを実施した。運動会の持久走では、子どもたちは保護者や色別の応援を受けて一生懸命走ることができた。また、教育長杯ロープジャンプXに2学年が参加し、長縄跳びにも取り組んだ。次年度に向けて熱中症予防対策として、マラソントイムの設定時期を調整していく予定である。(7について)全学年において養護教諭による歯磨き教室を実施し、歯の健康や歯みがきの仕方について理解を深めることができた。保健委員による「健康花丸チェック」も実施した。昼の放送や食育掲示板を通して食の大切さや食習慣等について啓発することができた。2学期は、栄養教諭と連携した食育授業やメディアコントロール力を高める取組を工夫していく。 【年度(→次年度)】		

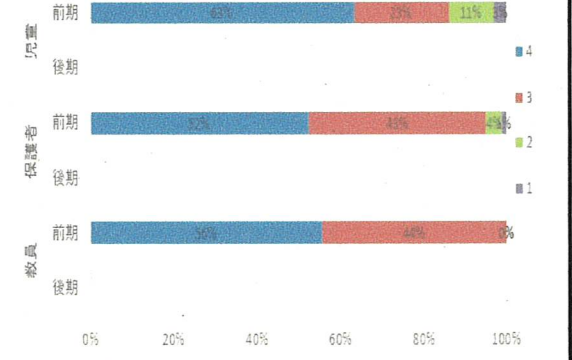
評価指標	実践課題	主な取組	学校評価B	
			前期	年度
4 健康と体力の向上	(6) 体力つくりの推進と体育学習の充実	・運動会や歩こうデーに向けた昼休みのマラソントイム ・新体カテストに向けた取組と実施 ・体育委員会主体の集団遊びの工夫と実施	4	
	(7) 適切な食習慣・生活習慣形成のための指導と家庭との連携	・食に関する啓発活動・歯磨き教室 ・手洗いの励行・健康花丸チェック	3	

【各種データ】 ※データは前期 ■職員 □保護者 ◎児童 ★実践事項

[6]に関するデータ ■「体力つくりや体育学習を充実させ、体力の向上に努めている」 □「子どもたちは、外遊びやスポーツに親しみ、体力つくりに努めている」

★ 体力つくりの取組 ◎「あなたは、体育の時間や休み時間に(マラソンなど)進んで運動しましたか。」

- マラソン運動～運動会練習時の業間や昼休みに実施
- ・カードの活用と掲示により、めあてをもたせ意欲を高めている。
- ・強調月間の設定
- ・体カテストに向けた体力向上を図る体育学習
- ・体育委員会による学年対抗遊びしっぽり大会の実施



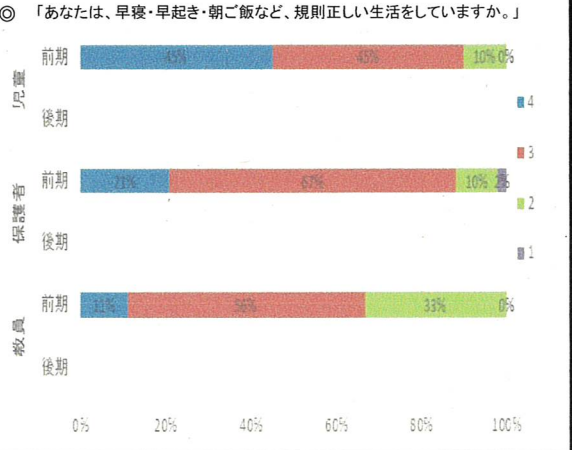
＜昨年度の体力テストの結果＞

R5新体カテスト結果	学年	現小2	現小3	現小4	現小5	現小6
県平均を100としたときの指数		110.6	102.8	96.4	103.6	121.3
		103.3	107.2	100.9	98.3	114.8


※昨年度の体力テストの結果は、おおむね良好である。現小4男子と現小5女子以外は県平均を上回っている。今年度も体力の向上を図る取組を継続していく。

[7]に関するデータ ■ □「子どもたちに望ましい生活習慣・食習慣が身に付いている。」 ◎「あなたは、早寝・早起き・朝ご飯など、規則正しい生活をしていますか。」

- ★ 栄養教諭による食に関する啓発活動(給食だより・昼の放送) 給食指導のめあての設定と掲示(食育掲示板)
- ★ 養護教諭による歯磨き教室の実施、長期休業中のカード配付等、保護者と連携しながら指導を進めている。
- ★ 保健委員会による「健康花丸チェック」、メディアコントロールの呼び掛け、望ましい生活習慣を形成へ *市全体でメディアに関する実態調査の実施



ア 児童の状況

IV 基礎学力																					
児童の状況	学校評価A	運営協議会評価	運営協議会のコメント																		
意欲的に授業に臨み、基本的学習習慣を身に付けながら、学力を向上させようとしている。	前期	おおむね良好	共感的・協動的に学び合う学習指導の教師評価の肯定的回答が8割を超えているが、設問に対して「そう思う」を回答している割合は約1割であり、まだまだ改善すべき余地があるという評価だと思う。発言する子どもの声量をもっと大きくという要望も含めて、先生方の今後の更なる研鑽を期待している。																		
	年度																				
学校の評価改善の概要と	【前期(一年度)】(8について)月別の重点目標を各学級で確実に取り組むことで、学習規律が身に付いてきている。また、家庭の協力を得ながら家庭学習の習慣化を図るとともに、自学ノート展や自学を見合う会等で、より効果の上がる自主学習の仕方を学んでいる。(9について)朝学習や意図的な繰り返し指導等で、基礎的・基本的な学力の向上を図っている。全国学力・学習状況調査の結果を分析し、日々の授業改善につなげていく。(10について)共感的・協動的に学び合う学習を目指して、「やませっ子学びのスタイル」を推進している。算数で研究してきたノウハウを今後は国語科にも生かし、学習リーダーの育成を継続しながら、より主体的に子どもたちが学んでいく授業を目指していく。																				
	【年度(→次年度)】																				
	実践課題	主な取組	学校評価B 前期 年度																		
5 確かな学力の育成	(8) 基本的学習習慣の徹底	・学習態度や話型の指導・学習環境の整備 ・家庭学習の習慣化	4																		
	(9) 基礎・基本的な学力の定着	・意図的計画的な繰り返し指導 ・個に応じた指導の工夫・聞き方、話し方の強調月間の設定	4																		
	(10) 共感的・協動的に学び合う学習指導の充実	・やませっ子学びのスタイル(つながる場、たしかめる場、シンカする場)の活用 ・授業での学び合い、話し合いの場(たけのこっ子タイム)の設定と充実	3																		
<p>【各種データ】 ※データは前期 ■職員 □保護者 ◎児童 ★実践事項</p> <p>【8に関するデータ】</p> <p>★学習指導部・研究部による計画的な取組</p> <p>○「学習の約束」の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月別重点目標による学習訓練の徹底(4月:基本的な学習態度を身に付けよう 5月:よい聞き方を身に付けよう 等) <p>○家庭学習の習慣化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭との連携を図る「家庭学習の手引き」の配付 ・自学紹介コーナーの設置とノート展の実施 ・自学花丸デー、自学を見合う会(学団)の設定 <p>○学習環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「やませっ子学びのスタイル」 ・「話し方・聞き方名人」 ・「声のものさし」 <p>※発表している友達へ体を向けて聴く</p> 																					
<p>【9に関するデータ】</p> <p>★意図的計画的な繰り返し指導の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ぐんぐん学習の推進、朝学習の活用 ・ドリル学習・百マス計算・新聞ワークシート ・ミニテスト等 ○各種テスト、ノートチェック、学習アンケートの実施 ○個に応じた指導の工夫(算数TT) ○話し方、聞き方の強調月間の設定(5・6月) <p>令和6年度全国学力・学習状況調査の結果(平均正答率)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>国語</th> <th>算数</th> <th>結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>山瀬小</td> <td>73</td> <td>77</td> <td rowspan="3">全国、秋田県の平均を上回り、良い状況にある。</td> </tr> <tr> <td>秋田県</td> <td>72</td> <td>65</td> </tr> <tr> <td>全国</td> <td>67.7</td> <td>63.4</td> </tr> <tr> <td>県平均を100とみたとき</td> <td>104.1</td> <td>118.4</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					国語	算数	結果	山瀬小	73	77	全国、秋田県の平均を上回り、良い状況にある。	秋田県	72	65	全国	67.7	63.4	県平均を100とみたとき	104.1	118.4	
	国語	算数	結果																		
山瀬小	73	77	全国、秋田県の平均を上回り、良い状況にある。																		
秋田県	72	65																			
全国	67.7	63.4																			
県平均を100とみたとき	104.1	118.4																			
<p>【10に関するデータ】</p> <p>■ □ 共感的・協動的に学び合う学習指導が充実している。</p> <p>◎ 「あなたは友達のを発表を聞きながら、自分の考えを進んで発表することができましたか。」</p> <p>★「共感的・協動的に学び合う学習指導の充実」を目指した取組</p> <p>○つながる場(たけのこっ子タイム:授業での話し合い・学び合いの場の設定)</p>  <p>※1年国語科文章から読み取ったことをペアで動作化している。共感的・協動的な学び合いが成立している。(つながる場)</p>																					

イ
学校運営
の状況

学校評価Aと運営協議会の評価区分	きわめて良好	学校評価Bの評価基準	5	目指す方向が共通理解され取組も組織的で意識が高く成果も顕著
	良好		4	目指す方向が共通理解され取組も組織的で成果が多く見られる
	おおむね良好		3	目指す方向が明確で一定の取組が行われており成果も見られる
	やや不十分		2	目指す方向がやや不明確で取組もばらつきがあり成果が安定しない
	努力を要する		1	目指す方向が不明確で取組体制や取組方に解決すべき課題が多い

V 安全・安心

学校の状況	学校評価A	運営協議会評価	運営協議会のコメント
児童の安全確保に取り組んでおり、諸問題への組織的対応が図られている。	前期 良好	良好	保護者アンケートでは、安全に関する学校からのメール配信がありがたいという記述も見られた。今後も正確な情報を迅速に伝えられるよう努めてほしい。子どもたちの安全確保のために、これからも地域や保護者と連携した取組を進めてほしい。
と学校評価の価値の善概要	<p>【前期(→年度)】(11について)4月に交通安全教室を行い、道路の横断の仕方や自転車の安全な乗り方について具体的に学ぶことができた。保護者の情報から自転車の利用については、速度やヘルメット着用等について引き続き指導が必要である。集団登校については、班長を先頭に安全に登校することができる。登校の仕方で心配な声が届いたときは、職員が現場で見届けるなど、安全な登校に努めている。(12について)PTA生活環境部の協力により、4月末に危険箇所へ注意喚起の看板を設置し、事故防止を呼び掛けている。スクールガードリーダーも時々巡回して見守っているため、関係機関と連携しながら事故防止に努めていく。</p> <p>【年度(→次年度)】</p>		


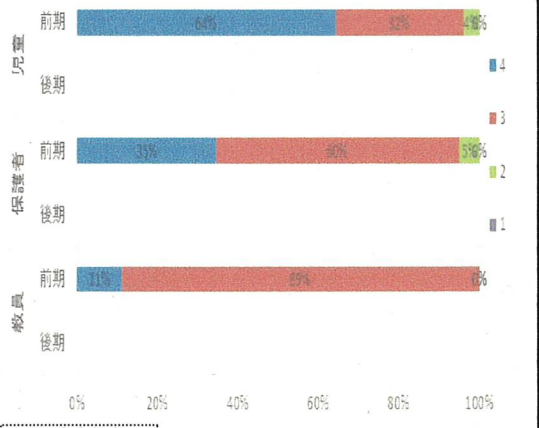
評価指標	実践課題	主な取組	学校評価B	
			前期	年度
6 安全教育と安全管理の徹底	(11) 安全教育の徹底による安全意識の高揚	・集団登校下校指導、避難訓練(地震)、交通安全教室等の実施 ・「すこやか通信」の発行・地区児童会	4	
	(12) 地域や関係機関と連携した安全指導	・警察、交通安全協会、スクールガードリーダー、子ども110番の家、PTA等関係機関との連携 ・引き渡しカードの更新・危険箇所看板設置・街頭指導・メール配信	4	

【各種データ】 ※データは前期 ■職員 □保護者 ◎児童 ★実践事項

[11に関するデータ] ■ □ 「子どもたちに安全への意識が育っている。」
◎ 「あなたは学校の行き帰り、ルールを守って安全に歩くことができましたか。」

【取組の具体例】★安全意識の高揚

- 通学路の歩き方と危険箇所の確認
 - ・集団登校、下校指導で通学路、歩き方の確認
 - ・安全意識を高める集会での指導(定例集会・夏休み前集会)
- 交通安全教室
 - ・4月19日 1～2年安全な歩行・3～6年自転車の乗り方
- 避難訓練
 - ・地震想定避難訓練 5月28日～地震発生時の避難の仕方
 - ・保護者へ「児童引き渡しカード」の更新
- 生徒指導部より「すこやか通信」の発行
 - ・集団登校の確認、自転車の乗り方
 - ・GWの過ごし方
 - ・夏休みの暮らし方
 - ・「次代を担う田代の子 自立プラン」への継続的な取組
- 地区児童会
 - ・危険箇所の確認等

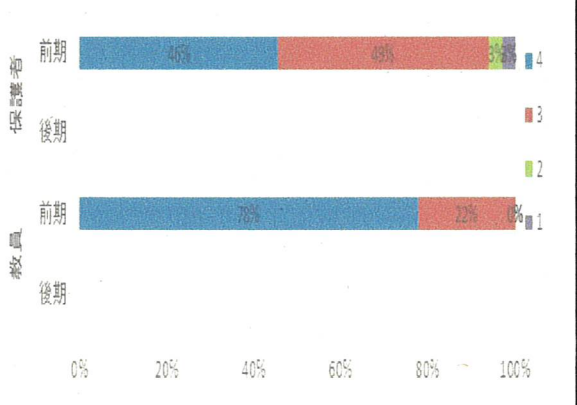
※交通安全教室
大館警察署員や交通安全協会の皆様の協力を得ました

[12に関するデータ]

★PTAやスクールガードリーダー等の連携 ■ □ 「家庭や地域の人々の協力を得ながら、子どもたちの安全確保に努めている。」

- ・PTA生活環境部との定期的な街頭指導の実施、スクールガードリーダーからの安全指導
- ・職員による集団登校現場指導
- ・市教育相談センターとの情報交換会
- ・PTA生活環境部による危険箇所の確認と看板設置
- ・子ども110番の家の確認
- ・市教育委員会へ通学路に関する要望の提出
- ・安全に関する緊急メール配信

※PTA生活環境部による危険箇所への看板設置

イ 学校運営の状況

VI 保護者・地域との連携

児童の状況	学校評価A	運営協議会評価	運営協議会のコメント	
学校の取組が分かりやすく保護者や地域に伝えられ、地域の教育力が有効に活用されている。	前期	良好	良好	アンケートでは、児童や保護者、教師ともに肯定的回答が9割を超えており、良好な状態だと判断した。学校報や学年報、学校HPやブログでの情報発信を好意的に受け止めている保護者が多い。今後も丁寧な情報発信を心掛けてほしい。地域の人材探しなど、必要に応じて積極的に地域コーディネーターを活用してほしい。
	年度			
学校改善策の概要と学	【前期(一年度)】(13について) 昨年度より学年だよりを隔週発行とし、カバーするために月の主な行事と下校予定時刻の一覧表を配付している。学校報は、学校行事や活動の様子、子どもたちの活躍を掲載している。HPを定期的に更新するとともに、学校ブログを開設して随時更新してきている。行事の実施可否や緊急時には、メール配信を行ってきた。今後できるだけ早い情報提供を心がけていく。(14について) 保護者や地域の方々の協力を得ながら、たけのこプロジェクトの様々な体験活動を進めることができた。また、クラブ活動では伝統芸能に触れる機会として、昨年度から(代野)番楽クラブを設けている。プロフェッショナルな講師から学べるクラブを子どもたちも楽しみにしている。今年度も子どもたちが一層ふるさとへの愛着心を醸成できるよう、地域の協力を得ながらふるさとキャリア教育を推進していく。			
	【年度(一次年度)】			

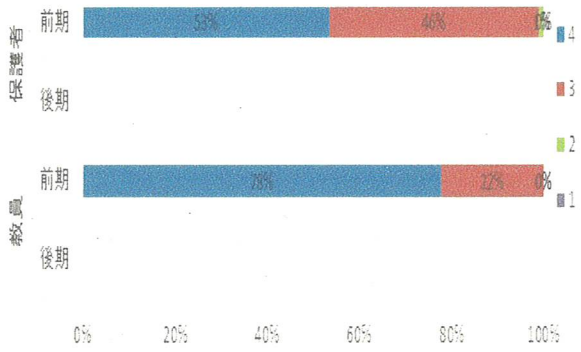
評価指標	実践課題	主な取組	学校評価B	
			前期	年度
7 地域の教育力の活用	(13) 定期的で効果的な情報発信	・各便りの発行、HP・ブログの更新 ・行事等におけるメール配信	4	
	(14) 地域の「ひと・こと・もの」を活用した豊かな教育活動	・地域素材、人材を活用した多様な体験活動の実施	4	

【13に関するデータ】※データは前期 ■職員 □保護者 ◎児童 ★実践事項

【取組の具体例】

- ★学校からの情報発信、情報交換等
- 学校だより「やませっ子」の発行と配付、HPにも掲載
 - ・毎月発行(学校行事や活動の様子、次の月の行事予定等)
 - ・行政協力員との連携による学区内配付
- 学年だよりの配付
 - ・隔週発行(学年の様子や行事予定、連絡等)
- 月の主な行事と下校予定時刻表の配付
- 保健だより・給食だよりの配付
- 行事や緊急連絡等のメール配信
- 学校教育アンケートの実施(web回答開始)
- OPTA活動、スポーツ少年団打合せ等による情報共有
- 教育相談等による情報交換
 - ・年3回の教育相談週間
 - ・スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーによる教育相談
 - ・学級担任による個人面談
 - ・各関係機関との連携(北教育事務所、市教委、少年教育相談センター、児童相談所、子ども課、児童クラブ、小・中・保)

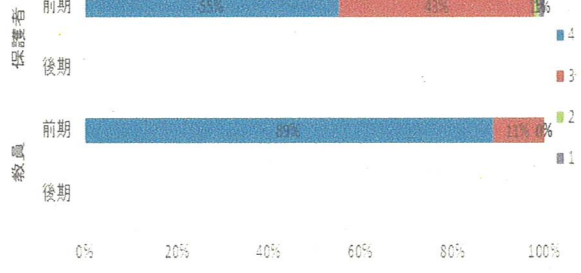
■ □ 「定期的、効果的に学校の様子を情報発信している。」



【14に関するデータ】

- ★「ひと・こと・もの」を生かした体験活動の充実
- ふるさとキャリア教育の推進
 - ・クラブ活動における地元講師の活用(六つのクラブ)
 - ・学校運営協議会での情報交換、地域コーディネーターとの連携
 - ・「たけのこプロジェクト」を核とした体験活動への支援
 - 農園栽培活動(耕起とマルチ張り、1・2年さつまいも、3・4年ポップコーン、5年田植え、5・6年なめこ)、たけのこ和紙作り用にたけのこの皮集め、皮の選別作業、1・2年藤の郷見学、ふるさとを歩こうデー、ブルタブ・アルミ缶回収等
 - ・地元の方からの地域学習への協力
越山小学校、五色湖の説明

■ □ 「地域の『ひと・こと・もの』を活用した豊かな教育活動が行われている。」



※番楽クラブで踊りを教える田代中2年久留嶋晃佑さん



◎「あなたは、地域の人やおうちの人などが勉強を教えたり、手伝ってくれたりする授業や体験活動が楽しいですか。」

